

大阪市

ごみゼロ



リ-ダー

ニュース

第16号

令和元年 6月発行



阿倍野区廃棄物減量等推進員実地研修

野村興産（株）関西工場

平成31年2月12日（火）、25名の皆さんと、日本で唯一の水銀リサイクル処理企業である野村興産（株）関西工場を見学しました。

関西工場は、西日本エリアから集まった蛍光灯管の水銀を取り除く中間処理拠点として運営されており、また、乾電池等の積替拠点にもなっているとのことでした。

研修会では、まず会議室において、工場長等から関西工場で行われている蛍光灯管の中間処理（破碎⇒選別⇒洗浄⇒乾燥）について説明がありました。各工程を経たガラスはカレット（小さいかけら）にリサイクルされ、蛍光灯ガラスやガラスウールの原料として製造会社へ出荷されています。また、各工程で生じた水銀ダスト（ちり）や洗浄スラッジ（汚泥）と、各地から集まった乾電池は北海道にある同社イトムカ鉱業所へ運搬され、そこで水銀の回収・リサイクルを行っているとのことでした。



蛍光灯管



会議室での研修風景



ちなみに..



「イトムカ」とはアイヌ語で《光り輝く水》という意味です



見慣れない機械に興味津々♪



次に2グループに分かれ、蛍光灯管の処理に使用する破砕機、洗浄機、乾燥機などを見学し、細かく砕かれたガラス（カレット）にも触れさせていただきました。

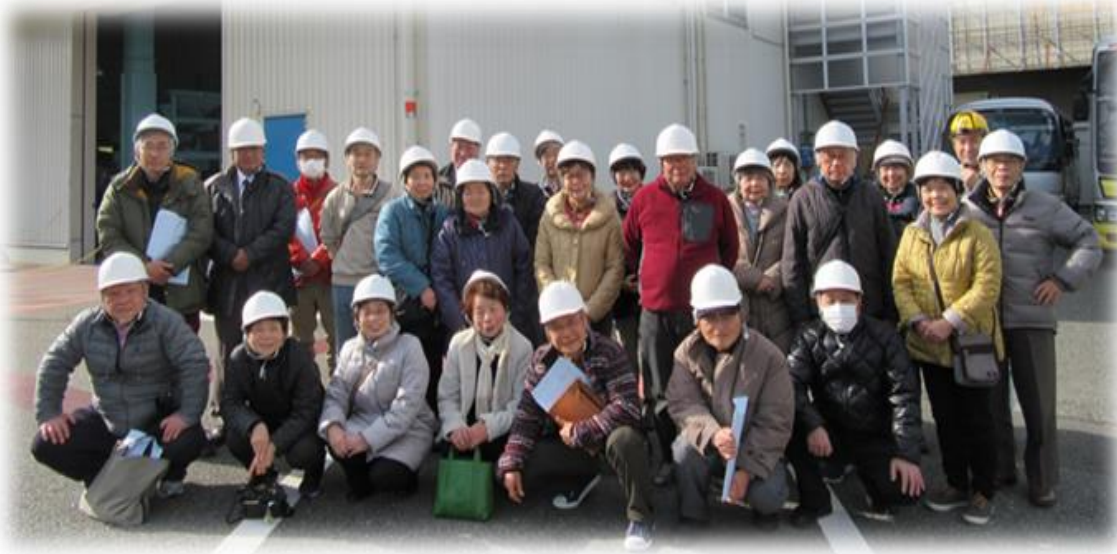
推進員から、防塵マスクを着用しているのは作業中の方だけで、それ以外の方は着けていないことから工場内の空気的安全性について質問がありました。工場長からは、作業中の防塵マスクは、誤って蛍光灯管が割れた際に気化した水銀を吸い込まないため、工場内の環境はマスクが必要ない状況であり、国が定めた基準値を大幅に下回る数値が出ているため安心であるとの説明でした。

ちなみに、工場の敷地内の花壇では野菜が育てられ、毎回収穫後は社員の皆さんで食されています。水銀を扱っている施設であるからこそさまざまな整備を行って、周辺環境への配慮に心を砕いているとのことでした。



夏にはスイカがたくさん取れました~!

約2時間におよぶ実地研修でしたが、皆さんは熱心に聞いておられました。皆さまにはお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。



皆さま
お疲れ様でした



《編集・発行》

大阪市南部環境事業センター

大阪市西成区南津守5-5-26

TEL:06-6661-5450 FAX:06-6653-7849

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

